



教育センターは「学校の応援団！」

－ 今後の大量退職を見据え 研修・研究・支援を強化 －

副所長 富吉 猛



「これから教員の大量退職が始まり、10年間で職員室の半分が入れ替わります…」

今年度の基本研修で、学校組織の今後の見通しについて教職員課より話がありました。

これは、本県教育にとって、とても大きな課題と言えます。学習指導や生徒指導等の経験豊富な教員の方々が、次々に退職されていくことは、学校全体の教育力の相対的な低下につながるようになります。

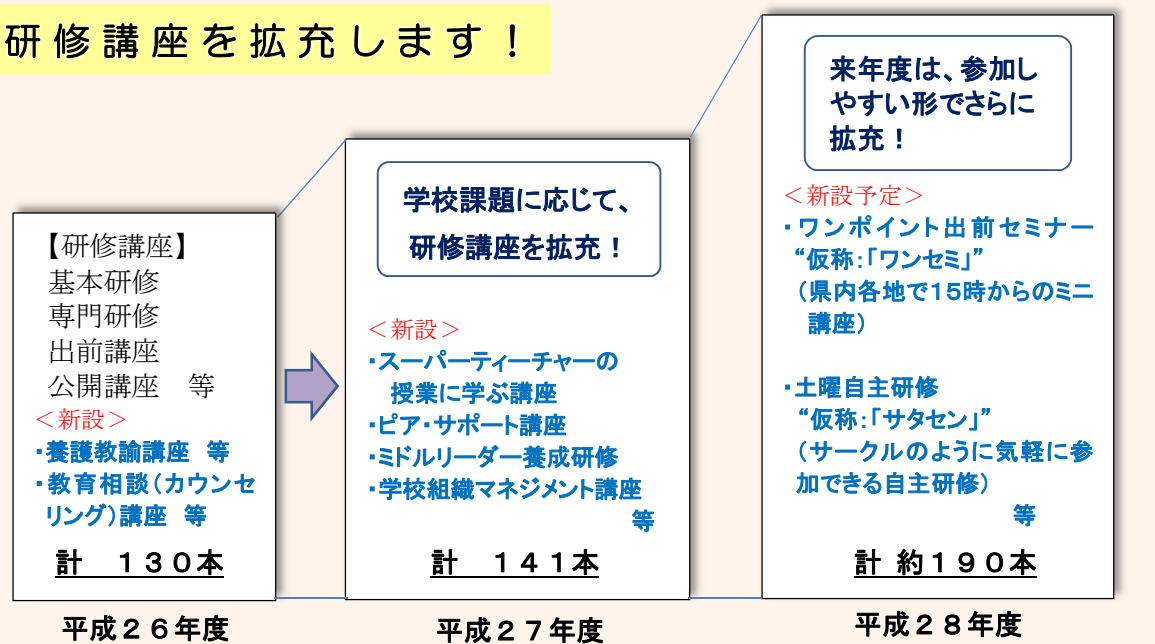
また、学力の向上やいじめ・不登校等への対応、特別支援教育の充実等の様々な教育課題は、今後も増加し、複雑化していくことが十分に予想されます。

このような厳しい状況において、急激に若返っていく学校組織を考えたとき、学校教育に携わる私たちは、どのような対応をしていかなければならないのでしょうか。

学校では、校内研修やOJT等で、一人一人が指導力を高める努力をしていくことはもちろん、困難な教育課題の解決を図るために「学校の『チーム力』」強化に、取り組んでいく必要があります。

教育センターも「学校の応援団！」としての役割を果たすため、「教師力・学校力向上に資する研修、研究、相談・学校支援の推進・充実」を方針に掲げ、所員一丸となって取り組んでいるところです。例えば、研修講座では、受講者のニーズ等を踏まえ、参加しやすい形で拡充します。(下図参照)

研修講座を拡充します！



もちろん、研究や相談・学校支援等でも、頼られるセンターをめざし充実していきます。

その他、研究や相談・学校支援等でも、喫緊の学校課題の解決に役立つよう取り組んでいきます。

みなさん、教育センターをどんどん活用していただきますようお願いします。

研修講座の様子をご紹介します

魅力ある研修講座づくりに努めています！

研修講座では、研修内容によっては外部から講師を招へいして講義をしていただいたり、より教育効果を高める提案をするために教育センターの教育研究を反映させたりと、様々な方法で研修講座の充実を図っています。

佐賀大学と連携を図っています

教育センターは佐賀大学と連携協定を結び、研修講座やプロジェクト研究(学校現場の先生方とチームを組んでの研修)の充実を図っています。

6月18日(木)の新任主幹教諭研修では、佐賀大学文化教育学部附属教育実践総合センター教授中島秀明先生、兵庫教育大学大学院学校教育研究科准教授の川上泰彦先生に「組織マネジメントとリーダーシップ」というテーマで、講義・演習をしていただきました。受講者のアンケートには、「どの角度から、そのように考え、どう動いたらよいのかという具体的なことを学ぶことができた」等、主幹教諭としての自覚と学校組織についての理解が深まったという感謝の声がたくさんありました。



指導・助言される中島先生(左)、川上先生(右)



ケースメソッド演習でのグループ発表

教職員のメンタルヘルス研修も行っています



受講者と交流される宮崎先生

新任主幹教諭研修では、佐賀大学医学部社会医学講座助教の宮崎博喜先生に「主幹教諭として気を付けたいこと」をテーマに講義をしていただきました。「メンタルヘルス・リテラシーを高め、主幹教諭が「メンタル・リーダー」として、職場にどのような貢献ができるか」ということを目的に講義・演習が行われました。

宮崎先生の温かい話し方と具体的な話に引き込まれ、時間があっという間に過ぎました。「コミュニケーションは才能ではなく、技術」という言葉に、知識や経験で技術を高めたいと感じました。

研究成果を生かした講座を展開しています



子どもたちが活躍できる授業でした

教育センターのプロジェクト研究の成果を生かした講座として、今回は小学校社会科Ⅰ講座について紹介します。午前は、春日北小学校でセンター所員が授業を行いました。「3人の武将と天下統一～信長・秀吉・家康～」という授業で、子どもの考えを揺さぶる問いを設定した話し合い活動が行われました。午後は、単元計画の作成を通じて、討論型の社会科の授業づくりについて、受講者の方々と一緒に考えました。

<受講者の声>

- ・実際の授業を参観することができ、発問や意見の取り上げ方、机間指導の在り方等、授業づくりのポイントを学ぶことができた。
- ・演習では、論題の作り方や、討論させる際の視点が分かった。
- ・授業づくりの視点や、組み立て方の順序、ポイント等勉強になった。

「討論型の社会科の授業づくり」については…

「意思決定を取り入れた討論型の学習(平成25・26年度プロジェクト研究)」をご覧ください。思考力・判断力・表現力の育成を目指すためのアイデアが満載です！

http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h26/01_syakai/toppage.htm



新たな研修講座づくりに取り組んでいます！

【試行】自主研修サタデーセンター(サタセン)がスタートしました！

今回号の巻頭言にもあったように、現在来年度の研修講座の充実に向けて検討を進めています。その中で、来年度に設定する予定の「サタセン」理科の試行版として、物理と化学の自主研修を行いました。

6月20日(土)の化学の「サタセン」には、教育センター化学研修室で高等学校化学教員9名が参加し、14時から17時過ぎまで実験や観察、授業実践例の紹介が行われ、授業に役立つ実践的な研修になりました。



実験等体験型な研修でした！

【今回の研修内容】

○ 教育センター 高校化学担当所員

- ・アボガドロ定数を求める ～ステアリン酸($C_{17}H_{35}COOH$)分子1個の質量～

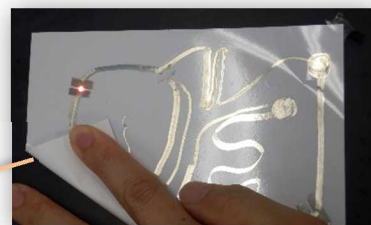
○ 唐津東高校 山口明德教諭(スポンサー)

- ・アボガドロ定数を求める ～1円玉27個を用いて～
- ・「イレーサブル・サーキット・マーカー」の紹介(右の図・説明)

○ 佐賀西高校 松高和秀教諭

- ・「無機化学」の授業の紹介
- ・「酸化還元反応」の授業の紹介

銀ナノインクが入ったペンで線を引くだけで電子回路を作成できます。



最先端技術の紹介も！

休日ではありましたが、自主参加型研修ということで、参加者の意欲は高く、みなさん熱心に受講されていました。研修終了後も、「電気分解」や県内の理科教育等について、活発な話し合いがなされていました。



第2回は10月もしくは11月に行う予定です。日時が決定次第、後日ミネルバにて広報します。校種に関わらず参加できますので、気兼ねなくご連絡ください。化学の研修への参加を希望される方は、教育センター時貞(0952-62-5212)もしくは佐賀西高校の松高教諭まで電話でご連絡ください。

今年度は数学・生物の「サタセン(試行版)」も予定をしています。ご期待ください！

環境づくりに感謝

清掃作業をしていただいている方々には、日ごろから所内の環境美化でお世話になっています。加えて、教育センター内、または自宅から季節の花木を摘んで、図書資料室、ロビーやトイレ等にボランティアで飾っていただいています。

昼休みや研修後にぜひご覧ください。



夏休み明けの「不登校防止」に向けて

1学期の指導も間もなく終わるころです。各学校においては、気になる児童生徒の対応について検討されている頃だと思います。長期休業中に起こる児童生徒の変化は見えづらいものの、2学期の登校に大きな影響を与えます。今回は、夏休み明けの「不登校防止」に向けての取り組みについて紹介します。

児童生徒・保護者とのつながりを大切に

平成25年度「子どもの問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(H26.12.19 文部科学省)の中の、「不登校のきっかけとなった学校に係る状況」の1番目は「友人関係をめぐる問題(いじめを除く)」で、2番目は「学業の不振」です。以下に示すような子どもたちは、今後、欠席が増える可能性があると考えて、できるだけ早目に対応しましょう。早期に対応することで児童生徒の不安や緊張感を和らげることができ、そのことが不登校防止につながる可能性があります。

夏休み前に >>> 配慮が必要な子どもの把握

教育センターでは、夏休み明けに欠席が増えて登校しぶりをするようになった子どもの相談が、10月と11月に増加する傾向があります。今の時期に1学期の子どもの様子を振り返り、夏休み明けに向けて、配慮が必要な子どもを把握して夏休み中の対応を考えましょう。

こんな子どもはいませんか？

- ✓ 1学期の欠席日数が、昨年度に比べて増えている
- ✓ 欠席日数は少ないが、遅刻や早退が増えている
- ✓ 友人関係に変化があった(部活動を辞めた、一人でいることが増えた、等)
- ✓ 毎日の宿題は提出できるが、提出日に合わせて計画的に宿題をすることが難しい

夏休み中に >>> 配慮が必要な子どもへ具体的な対応を

① 関わりの継続

夏休みが終わる2週間ぐらい前から、子どもたちの登校への気持ちのカウントダウンは始まります。登校日等の様子から配慮が必要と感じられる子どもに対しては、電話連絡や家庭訪問など、事前に子どもや保護者と連絡を取り合い、子どもの様子を知る機会をつくりましょう。

② 学習支援

夏休みの宿題が提出できないことから、始業式に欠席する子どももいます。場合によっては、提出日の前に宿題の進み具合を確認する機会を設けて一緒に学習計画を立てたり、個別に宿題の質や量を調整したりして、宿題や学習に対する不安を解消しましょう。

③ 生活リズムの回復

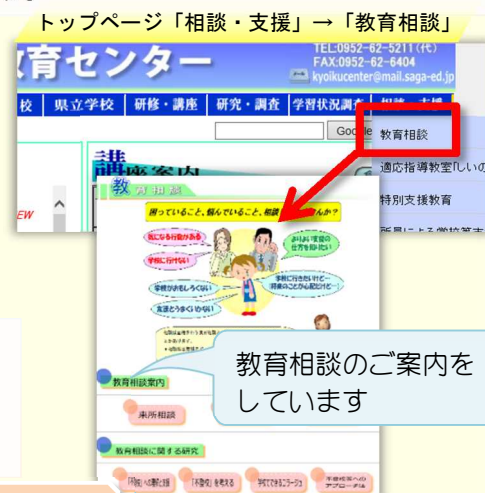
食事や睡眠など、生活面での乱れは、健康面に大きく影響します。夏休み中に生活リズムが崩れている子どもに対しては、保護者の協力を得ながら早目に対応しましょう。

夏休み後に >>> さらに困ったときには…

登校日や9月の登校の様子を見て、早目の対応を心掛けましょう。校内での対応が難しくなってきたときは、教育センターでも相談を受け付けております。お気軽にご連絡ください。

☆教育センターに来所されての教育相談や不登校等の教育相談についての学校等支援も行っています。p5に依頼方法等を掲載しています。

☆Webでの情報提供はこちら：<http://www.saga-ed.jp/shidou/soudan/index.html>



不登校に関わる研究等も紹介しています

先生方の研修会を支援しています！

担当業務や所員の専門性を生かしながら、校内研修会や教科等部会研修会等の充実を支援しています。ぜひご活用ください！

この様な学校等支援を行っています

学校等支援の例

- 学習指導要領について
- 授業研究会への参加と資料提供、実践発表、助言
- 各教科の指導案の検討、指導法の改善等について
- 全国および佐賀県の学力・学習状況調査の結果分析について
- 人権・同和教育の推進について
- 特別支援教育について
- カウンセリングマインドを生かした、生徒の理解と支援について
- ICT利活用や情報モラル教育など情報教育の充実について

＜依頼者の声＞

- ・本校の職員だけでは気付けない、授業の本質に触れる指導をもらった。
- ・これまでの研究されたこと等の経験を踏まえて熱く語られ、職員の意欲を高めてもらった。
- ・指導案、ワークシートや授業の進め方等多岐にわたって指導してもらった。

【学習状況調査分析の学校等支援が始まりました！】

6月17日(水)の佐賀市立鍋島小学校、唐津市立肥前中学校を皮切りに、全73校を訪問する予定です。4月調査結果の分析方法や、授業への活用の仕方等についてセンター所員が説明します。さらに、実際に分析作業を先生方に行ってもらう等、より充実した研修になるよう工夫しています。



学習状況調査に係る学校等支援の様子

支援依頼はWebから

学校等支援の依頼の際には、ぜひWebをご覧ください。申請から実施までの手順が分かります。

また、申請書・アンケート様式についてはExcelデータでダウンロードできます。ぜひご活用ください！

<http://www.saga-ed.jp/shien/enjo/>

※申請及びアンケートデータの送付先はこちら

教育課程支援担当(藤瀬・池田): cent_shien@mail.saga-ed.jp

トップページ「相談・支援」→「所員による学校等支援」



申請書・アンケート様式はこちら

申請書のダウンロードはこちらから！

- ☆申請前に依頼する所員との事前調整を
- ☆公文書ですので、正確な入力と校内起案を

② 支援を行う所員との連絡後、依頼申請書を下記アドレスへメール添付にて送付してください。

申請書ダウンロード(使用する様式は所員にお尋ねください)	
A様式	B様式
Excel	Excel

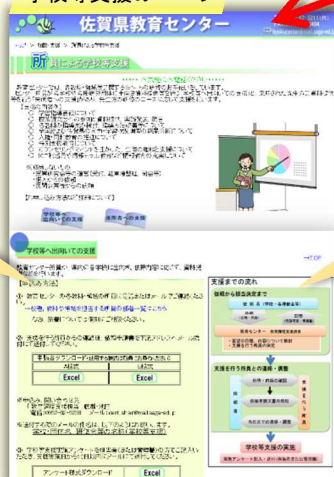
※申込み、問い合わせ先
「教育課程支援担当」藤瀬・池田
電話:0952-62-5238 メール: cent_shien@mail.saga-ed.jp

※送付する際のメールの件名は、以下のようにお願いします。
学校・団体名、研修会等の名称(学校等支援)

③ 学校等支援実施アンケートを担当者(または管理職)の方で記入いただき、支援実施日から10日以内にメールにて送付してください。

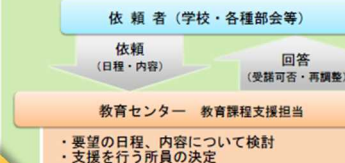
アンケート様式ダウンロード	Excel
---------------	-------

学校等支援のページ

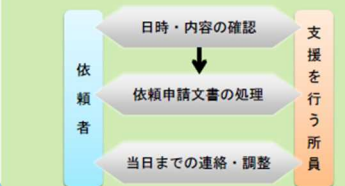


学校等支援実施までの流れ

依頼から担当決定まで



支援を行う所員との連絡・調整



学校等支援の実施

実施アンケート記入・送付(担当者または管理職)

学校等支援実施後には、こちらのアンケートに回答をお願いします。今後の学校等支援の充実・サービス向上に生かします。

「学校等支援」に関することは・・・教育課程支援担当へ 0952-62-5238 (直通)

教科書展示会のご報告

一般図書が充実しています！



特別支援学校の児童生徒向けの一般図書



展示している教科書(中学校)

図書資料室には、小・中学校の全ての検定済教科書のほか、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書(一般図書)を展示しています。

特に、「一般図書一覧(文部科学省)」に掲載の全ての図書(300点余り)の展示があるのは、県内では教育センターだけです。特別支援学校の先生方を中心に毎年多くの先生方が閲覧にいらっしゃっています。また、文部科学省著作教科書(☆本)や拡大教科書(サンプル本)も展示しています。

小・中学校の特別支援学級においても、児童生徒の実態に応じて☆本や一般図書の給与ができる場合がありますので、次年度の教科書の検討や選定の際は、ぜひご利用ください。

教科書展示会は、7月8日で終わりですが、1年間を通して、県内教職員の方ならどなたでも随時、閲覧できます。



教科書展示会では多くの方に閲覧していただきました

図書資料室の利用方法については、ミネルバ139号をご覧ください。

<http://www.saga-ed.jp/shien/mineruba/archives/0139.pdf>

研修の際に心掛けたいこと

良識ある服装で

研修の際は、お互い良識ある服装を心掛けたいものです。クールビズ期間中は、ノー上着、ノーネクタイで構いませんが、お互いが気持ちよく研修ができる服装を心掛けましょう。

ポロシャツ等ラフな格好はNG！



華美になっていませんか？
室内での日よけ手袋・マフラーの着用はご遠慮ください。

気温によっては冷房を使用する期間になりました。寒い場合は上着での調節を！

交通ルールを守って

センター周辺の道路は、地域の方の生活道路になっています。スピード(周辺道路は30km/h制限)、一時停止等交通ルールを順守しましょう。時間に余裕をもってお願いいたします。

研修に急いでいても、スピードと気持ちは穏やかに…

ランチは食堂でいかがですか？！

利用方法について

- 事前に食券の購入を。(9時まで)
※受付の隣で販売しています。
- 利用は1食ワンコイン(500円)です。
- セルフサービスになっています。



温かくておいしいランチはいかがですか？
テーブル席だけでなく、和室等もありますのでグループでの利用も可能です。



Webでその週のランチメニューを確認できます